

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1148
施設名	キッズタウン下落合保育園
施設所在地	東京都新宿区下落合1-9-10
法人名	社会福祉法人こうほうえん

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然(生物)への興味

<テーマの設定理由>

- ・ビオトープ作りをきっかけに生物への興味が子ども、職員共に出てきたため

2. 活動スケジュール

5月2歳児クラスがトマト、ひまわり、おじぎ草を植え、生長観察を始める
6月2歳児クラスザリガニ、オタマジャクシを捕獲、自クラスで飼い始める
7月年長クラスがヌマエビを公園で捕獲、メダカの水槽に入れ共生する姿を観察
9月ヤモリ三匹保育園で捕獲、2歳児クラスで飼い始める
10月各クラス、蜘蛛などの小さな生物を捕まえると2歳児クラスヤモリに給餌するように
11月ヤモリなど、生物がエサを食べる姿をじっくりと観察するようになる
12月水草を購入、数か所にいるメダカの水槽に入れる
3月職員と年長児、ビオトープ周辺にプランターを用意し春の花植えを行う

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・虫かご
- ・水槽
- ・水草

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・年長児がヌマエビを捕まえ、事務所前のメダカの水槽に入れた。去年のビオトープから培った生物の「共生」の実践
- ・保育者が捕えた生物を観察することを、クラスの遊び時間に組み込む

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

- ・2歳児クラスでは、目の前にいる生き物の観察に没頭する様子が見られた。
- ・幼児クラスでは、捕まえた蜘蛛などの小さな虫を、かぜ組のヤモリのエサにしようという声上がり、捕まえては渡しに行っていた。
- ・給餌に対して職員は、ただ認め、「可哀そう」などの感想を述べずに見守った。

<写真>



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・花など、動かないものより子どもたちは動きのある生き物に強い興味を示す事が多い。
- ・特にエサをあげるという「給餌体験」は2歳以上クラス共通でとても強い興味を示す。
- ・子どもたちは、エサを食べる生き物の姿を食べ終わるまで没頭するように見ている。
- ・職員たちも自分たちの主観(虫は気持ち悪い等)を子どもたちの前で言わなくなっている。